



平成26年12月26日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所  
 代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵  
 (コード番号 6112)  
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司  
 (TEL 027-322-1221)

## 特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

特別利益が発生しましたのでお知らせいたします。  
 最近の業績動向を踏まえ、平成26年6月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

### ● 特別利益(保険差益2億68百万円)の発生及び業績予想の修正について

平成26年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,000	10	15	10	1.00
今回修正予想(B)	1,446	△450	△425	△159	△15.95
増減額(B-A)	△554	△460	△440	△169	
増減率(%)	△27.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年11月期)	2,010	△23	14	7	0.71

#### 特別利益の発生及び修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては一部工事進行基準を適用いたしておりますが、当114期通期における売上高につきましては、大型製品の一部に客先都合や生産計画変更等による納期のずれ込みが生じ売上が翌期に繰越され、売上総額では前回発表予想数値20億円には及ばず、遺憾ながら14億46百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、引き続き原価を始め経費全般に亘り削減に努めてまいりましたが、売上減少に加え、利益貢献する良質物件の確保が困難な状況が続いており、更には、大型製品の据付費・現地工事費等予想外の追加費用の発生等がありました。特別利益(保険差益2億68百万円)の発生により、表記の当期純損失(1億59百万円)(前回発表予想数字10百万円)止まる見込みであり、減額修正するものであります。

受注状況につきましては、当期の受注高は、受注競争激しい中にありながらも営業努力により、前期(10億13百万円)を大きく上回る17億70百万円の受注を確保でき、受注残高につきましても、前期末(10億3百万円)から13億27百万円へと拡大・向上しております。現在、鍛造・製鉄・自動車関連向けに増加基調の明るい兆しが見えており、国内外を中心に引き合いが浮上している大型案件の成約に向け努力し、一層の受注増加を目指し、翌期の売上増加に期待をにかけているところでございます。

\* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以 上